

A-1 保育内容

A-1-（１）全体的な計画の作成			
A-1-（１）－①	a	5	・全体的な計画は作成している。
	b	11	・園の理念や方針に基づいた保育課程を作成し、全体的な計画に基づいて、各年齢の年間計画を毎年使って、月案、日案と園児管理を活用して記録、振り返りを行っている。
	c	2	・評価を行った後、次の作成に活かしているか分からない。
			・全体的な計画は作成しているが、評価が遅れてしまう事がある。
			・全体的な計画は存在するが、その計画について、会議をしたり、見直しをしたりすることがなかなかできていない。地域の実態にも応じきれていない。
			・月初めに作成できていないこともあるので、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて作成できていない。
			・全体的な計画は、地域の実態や子どもの年齢に配慮して作成されている。
A-1-（２）環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
A-1-（２）－①	a	12	・おもちゃをそろえたり、保育室は適時換気を行っている。
	b	6	・室内は季節に応じて、温度調整を行い、寒すぎたり暑すぎたり無理のないようにしている。感染症予防のために、ジアイーノやエアドッグなど、空気をきれいにして清潔を保っている。
	c	0	・日々、温度、湿度のチェックをして快適に過ごせるようにしている。湿度が低くなることも多かった。
			・おもちゃをそろえたり、部屋の掃除を毎日して、心地よく過ごせるようにしている。
			・年齢発達や季節に合うような環境づくりや整備を行っている。（２）
			・毎日部屋やトイレ掃除をして子ども達が気持ちよく過ごせるようにしている。
A-1-（２）－②	a	14	・子ども一人ひとりの発達に合わせて保育を行っている。
	b	4	・朝や活動後のサークルタイムでは、自分の気持ちや思いをみんなの前で発表する時間を大切にしている。お昼の時間に眠くなってしまった子には、静かに身体を休める時間をとるようにしている。
	c	0	・その子ども一人一人に合わせて接するようにしている。寄り添って声掛けなど行っている。（２）
			・子ども一人一人の発達に合わせて身の回りの事に取り組んでいる。個人差があることを十分に把握している。
			・声のトーン、姿勢など、子どもが話しやすく関わってこれやすいよう心掛けている。
			・ひとりひとりの子どもの発達状況を把握し、それぞれ声掛けの仕方を変えたり、関り方を変えたりしている。
A-1-（２）－③	a	9	・保護者とも連携を図りながら、一人ひとりの子どもに合わせて援助している。（２）
	b	8	・基本的な生活習慣を身に付ける2歳、3歳のクラスでは、自分でしようとする気持ちを尊重しながら、できないところだけを保育者が援助している。家庭での様子を保護者とやりとりしながら、自立に向けて進めている。
	c	0	・着脱など、自分でやりたがっている時に見守るようにはしているが、時間が無いときにはどうしても全部保育者がやってしまう。
	分からない	1	・家庭環境や発達に合わせて生活習慣を身に付けられるように配慮している。年齢に合った生活習慣などを知らせて援助している。
			・個々の発達や状態に応じて、働きかけるようにし、こどもが「自分でしたい」とときには尊重し、助けを求めてきたときに援助できるように見守っている。
			・着替えは特に、「自分でやる」という子が多いので、その気持ちを尊重してそばで見守るようにしている。
A-1-（２）－④	a	8	・子どもが主体的に遊べるように環境を整えてはいるが、あまりおもちゃに興味を示さない。
	b	9	・4、5歳児クラスでは、午後の時間を自分の好きなあそびを楽しむ時間にしている。友だちと一緒に遊んだり、ひとりでも夢中になって取り組む様子も見られる。コーナーにはアトリエもあり、廃材を使った製作や折り紙など、材料を選んで遊ぶことができる。（２）
	c	1	・同じような活動を何回かするため、あまり主体的な活動にならないことが多い。
			・子どもが自発的に遊べるようコーナー遊びを設けているが、子どもたちはあまり興味を示さない。
			・遊びの環境を定期的に確認し、遊べる環境を作っている。
			・気候や気温によって戸外で朝夕遊ぶことができる。
			・保育室に自由にとれるようにおもちゃが置いてあるが、あまり活用していない。

A-1- (2) -⑤	a	11	・月齢に応じて使うおもちゃを変えている。(2)
	b	7	・0歳児クラス、1歳児クラスで共有のスペースも多いので、1歳児から刺激を受けたり、関わって遊んだりする姿も見られる。活発に身体を動かす機会も設けるようにしている。
	c	0	・落ち着くような環境があると思う。その子に合わせて活動している。・月齢に沿った遊びを取り入れたり、憩いの場となる環境づくりをしている。
			・定期的な換気や空調の調節に気を付けたり、玩具の消毒を行っている。また、床の掃除、棚や壁、扉の拭き掃除など行っている。 ・遊び、食、排泄など、声掛けやスキンシップをとりながら行っている。食や生活に関する事について家庭と口頭や帳面などで共有しながらすすめている。(2) ・安全面を考え、床にクッション性の高いマットを敷いたり、玩具棚を設置しているが、十分な環境ではないと感じる。 ・0歳クラスに入る職員は、固定していたり、人形などを置いたりして、落ち着いて過ごせるようにしている。
A-1- (2) -⑥	a	8	・保育者が安全基地となり探索活動をしったりしている。(2)
	b	10	・0歳児クラスでは成長に合わせた活動に取り組めるような環境づくりを行っている。朝夕の時間帯では戸外遊びをしたり室内で好きなおもちゃで遊んだりしている
	c	0	・一人一人の気持ちを受け止め、発達に応じた玩具の準備や環境を作っている。・お友だちに興味、関心がでてきたら、見守りながら仲立ちをしていく。
			・1歳クラスは0歳クラスと合同になっているため、十分な環境は整っていないと感じる。 ・子どもが何がしたいと言ったら実現できるようにしてあげたいが、できていない。・月齢に応じてグループ分けをして発達に合わせた保育をするようにしている。
A-1- (2) -⑦	a	14	・集団生活の中で、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるようにしている。(2)
	b	4	・3歳児以上のクラスでは、集団のあそびにみんなで取組んだり、自分たちがそれぞれ好きな遊びに取り組んだりと活動に応じて、集団の中で友だちとの関りが持てるような環境も整えている。
	c	0	・いろいろな素材があり、製作活動など楽しく行えているのではないと思う。
			・異年齢保育やコーナー遊びで関わって遊べるような構成をしったりしている。 ・3歳クラス以上は、サークルタイムをして自分の思いや考えを活かす機会を作っている。 ・子ども達のやりたそうな遊びを予測して、クレヨンやおりがみなど工作のものなどを置いている。 ・5歳児は園外保育など多く取り入れているいろいろな経験ができるようにしている。4、5歳児は午後からはコーナー遊びをして異年齢で関わって遊んだり、好きな遊びで遊べるようにしている。
A-1- (2) -⑧	a	11	・けがや事故が起きないように、配慮しながら子どもが安心して遊べるようにしている。(2)
	b	6	・個別の指導計画を作成し、子どもの特性に応じて、必要な援助を行うようにしている。子どもの特に好きなキャラクターや乗り物のおもちゃを用意し、安心して過ごせるようにしている。
	c	0	・かんしゃくを起こした時などに落ち着けるようなものや場所がある。
	分 か ら ない	1	・その子に応じた計画を立てたり、玩具の準備を行っている。保護者と密に連携を取りながら、その子の発達に合わせた環境や気持ちを受け止めている。 ・しんがくどうなどと連携をしながら本人が過ごしやすいよう環境を整えている。また、1人1人の発達に合わせたかかわりができるようにしている。(2) ・子どもが時々生活のペースにとまどいがある時には、1人につくなど必要で活動が止まってしまうこともある。 ・その子の好きな物などを置いて落ち着いて過ごせるようにしているが、すべてに答えられていないと思う。
A-1- (2) -⑨	a	10	・朝や夕方は、遊びが偏りいつも同じである。(2)
	b	7	・延長保育の時間には、ゆったりとした雰囲気ですごせるようにおやつを食べたり、好きな遊びを楽しめるようにしている。
	c	1	・延長保育のため、残っている子どもが楽しく過ごせるようにしたい遊びをするようにしている。
			・園児管理システムを使って、朝夕の伝達事項を管理、全職員で共有できるようにしている。 ・園での様子などを保護者に伝えたり、延長などで迎えが遅くなる子は、その子の好きな遊びをしったりして楽しく過ごせるようにしている。 ・異年齢グループ保育を月に2、3回取り入れたり、朝夕は異年齢で関わって遊べるようにしている。
A-1- (2) -⑩	a	10	・小学校と連携をとったり、就学に関する保育を行っている。(2)
	b	6	・幼保小の連携についての研修や意見交換会などに参加したり、小学校1年生の授業参観や授業体験をしったりした。給食を30分以内に食べるよう、時間を意識できるようにして
	c	1	いる。(2)
	分 か ら ない	1	・小学校との連携や児童要録の作成、小学生になるに向けてひらがなの練習や、給食の時間、その他の時間設定で区切りをつける練習をしている。 ・2歳児クラス以降、時計を使って食べる時間を意識づけしている。

A-1-（４）食事			
A-1-（４）－①	a	1 3 + 3	・食事が楽しくなるよう、絵本を読んだり野菜の栽培をしている。 ・年齢によって、回数は異なるがクッキングを通して、食への関心を深めるようにしている。また、5歳児はプランターで野菜を育てたり、4，5歳児で野菜の収穫体験をしたりしている。 ・苦手なものを無理に食べさせず、楽しく食べられるようにしている。（３） ・「おいしい？」の言葉かけや献立を知らせたり、無理なく楽しく食事ができる環境を作っている（２）。 ・マンネリ化されており、毎日の給食やおやつ時間に、楽しく食べるような工夫をしているかと問われれば、工夫などしていない為、十分ではない。 ・毎日の献立を知らせ食べるようにして食材に興味を持てるようにしている。
	b	3	
	c	1	
	分 か ら な い	1	
A-1-（４）－②	a	1 6 + 3	・アレルギーがある子どもは保育者のそばで食べるようにし、誤食や誤飲が無いようにしている。（２） ・子どもの体調に応じて、下痢やおう吐の症状のある子は、おかゆやうどんなど、消化にいいものを提供するようにしている。野菜の苦手な子は、食べる前に量を減らしている。（２） ・行事食など、子どもが好きなメニューを入れて、見た目も喜ぶようなものになっている。（２） ・前もって職員が検食を行い、安心して食べられるようにしている。 ・季節に合ったメニューを考えたり栄養士によるメニューの作成など衛生管理にも注意している。 ・個々の発達状況に応じて、食材の硬さ、大きさなど調整して提供している。
	b	1	
	c	0	
	分 か ら な い	1	
A-2 子育て支援			
A-2-（１）家庭との緊密な連携			
A-2-（１）－①	a	9	・連絡帳や送迎時に家での様子を訊いたり、園での様子を話したりしている。（４） ・3歳未満のクラスは毎日連絡帳で、園での様子を体調なども含めて、家庭とやりとりを行っている。 ・連絡帳などでなるべくやり取りができるようにしている。保護者が連絡帳を書いていないことが多いので、家庭での様子がわからない。 ・家庭との連携は連絡帳になっているが、十分ではないと思っている。
	b	8	
	c	0	
A-2-（２）保護者等の支援			
A-2-（２）－①	a	11	・信頼関係を築くために話を聞いたり、家での様子を詳しく聞いている。（２） ・保護者から、相談のあった内容については、ケア記録などで記録を行いどんな内容かをみて、職員が共通理解ができるようにしている。（３） ・ちゃんと安心してもらえているか分からない。 ・送迎時、気になることがあるときは、保護者に家庭での様子をきいたりしている。
	b	6	
	c	0	
	分 か ら な い	1	